



## 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月29日

上場会社名 株式会社 な と り

（コード番号：2922 東証第一部）

（URL <http://www.natori.co.jp/>）

問合せ先 代表者 代表取締役社長 名取 三郎

（TEL：(03)-5390-8111）

責任者 経 理 部 長 小林 眞

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用有無 : 有

（法人税等の計上基準）

法定実効税率をベースとした計算を行っております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結（新規）1社（除外）2社 ・持分法（除外）1社

### 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況（金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第1四半期	7,557 ( 1.3)	300 ( 13.8)	312 ( 16.6)	178 ( 16.2)
17年3月期第1四半期	7,659 ( 8.5)	263 ( 49.8)	268 ( 56.2)	153 ( 83.2)
(参考)17年3月期	30,805	1,062	1,084	669

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	12 84	11 51
17年3月期第1四半期	11 34	9 90
(参考)17年3月期	48 62	42 61

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

（金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	23,133	12,332	53.3	886 02
17年3月期第1四半期	23,688	11,580	48.9	853 84
(参考)17年3月期	23,888	12,274	51.4	881 30

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	440	50	549	959
17年3月期第1四半期	926	11	1,588	155
(参考)17年3月期	2,592	363	1,965	1,092

## 経営成績（連結）の進捗状況

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加を背景に、景気は底堅く推移したものの、原油価格の高騰など懸念材料が依然として残り、本格的な個人消費の持ち直しもみられず、緩やかな回復にとどまりました。

加工食品業界・小売業界におきましても、一昨年12月に米国で発生したBSE問題による牛肉輸入停止問題の長期化や価格競争の激化など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありました。

このような状況のもと、なとりグループは「常に満足していただけるおつまみを提供することで、お客様の笑顔がある、楽しくて豊かな食シーンを創造すること」をミッションとして掲げ、今期より本部制を強化し責任体制の明確化を図り、本部ごとのマニフェスト（公約）をもとに、目標を明確にコミットメントする体制をスタートさせました。また本年5月にリリースいたしました、3年後の第60期をターゲットとした新中期経営計画「チャレンジto60」を通じ、「おつまみ」の真のNo.1企業を目指し、諸施策に取り組んでおります。

当社グループは経営目標として既存事業への経営資源の集中を図りつつ、その周縁にある新たな「おつまみ市場」の創造に努めております。この中心となります新商品開発については、商品のライフサイクルが短期化するなか、水産・畜肉・酪農・農産・惣菜の5製品群に亘り注力いたしております。当第1四半期におきましては、パルメザンチーズをブレンドしコクと旨みが特徴の「チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈」、昨年6月の発売以来好評の「極辛」シリーズの追加アイテムとしてビーフジャーキーほか4商品を新発売するなど、従来の珍味売場の充実を図りました。一方、珍味売場以外へのカテゴリー拡大として、トレンドとなっているボトルタイプの容器を使用した「梅スッキリボトル」の発売や「小物商品」のアイテム拡充をおこないました。また、拡大する「中食」市場に対応する商品として、「チルドおつまみ」を「乾き珍味」に次ぐ当社の第二の柱に育てるべく、「鮭ハラスの塩焼き」ほか新商品を開発しチルド売場に投入いたしました。

中国生産については、コスト戦略の一環として本年5月より「いか」を中心とした中国での加工度引き上げを本格化させております。今後も中国リスクを勘案しつつ推進してまいります。

当社グループはコンプライアンスを重視した事業活動とコーポレート・ガバナンスのより良い体制づくりについて地道な検討と整備に努めております。当第1四半期においては、常勤監査役を1名増員したほか、内部監査担当を1名増員し内部統制システムの検討と強化に取り組んでおります。

これらの諸施策を打ちましたが、当第1四半期の売上高は75億57百万円（前年同期比1.3%減）となり、製品群別売上高の状況は、水産加工品45億1百万円（同2.5%減）、畜肉加工品10億97百万円（同3.0%増）、酪農加工品6億73百万円（同2.8%増）、農産加工品7億18百万円（同5.7%減）、惣菜品ほか5億67百万円（同0.8%増）となりました。その内訳としまして、水産加工品は「いか」を中心とした従来の「乾き珍味」が市場における競争激化に伴い減少したことで、低粗利の「いかの一次加工品」売上の削減により減収、畜肉加工品は新商品投入効果もあり引き続き堅調に推移し増収、酪農加工品は今年のチーズ鱈の自主回収の影響を脱し増収となっております。また農産加工品は梅製品は好調でありましたが、売上一巡した栗やその他の落ち込みをカバーできず減収、惣菜品ほかは洋風惣菜を扱う子会社(株)なとりデリカと中華惣菜を扱う(株)好好飲茶が増収に貢献しております。

利益面につきましては、減収により売上総利益が24億25百万円（前年同期比1百万円減）と微減でありましたが、低粗利商品の取扱い減少により売上総利益率は前年同期比0.4%改善、販売費及び一般管理費は引き続きローコストオペレーションによる全社コスト削減に努めた結果、21億25百万円（同

1.7%減)となり、営業利益は3億円(同13.8%増)、経常利益3億12百万円(同16.6%増)、四半期純利益は1億78百万円(同16.2%増)と前年同期比増益となりました。

当第1四半期の売上高に占める新商品売上高構成比率は28.5%となりました。引き続き食品総合ラボラトリーを中心に、研究開発型企業としての新商品・新市場開発、顧客満足度の高い競争力のある商品開発に努めてまいります。

#### 財政状態(連結)の変動状況

当第1四半期末の連結総資産は231億33百万円と前年同期比5億54百万円減少いたしました。その主な要因は資産の部ではたな卸資産、保険積立金等が減少、負債の部では長期・短期借入金及び社債等が減少しております。資本の部では資本金・資本剰余金がアルパイン円貨建転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により増加しております。結果、株主資本比率は前年同期比4.4%増加し53.3%となりました。

なお、当社グループは、当第1四半期より「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

#### 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によって得られた資金は、4億40百万円(前年同期比4億85百万円減)となりました。主に、売上債権・たな卸資産・仕入債務等運転資本で前年同期比2億36百万円減少、法人税の支払額が前年同期比2億69百万円増加したことによります。

投資活動によって得られた資金は、50百万円(同62百万円増)となりました。当第1四半期には多額の投資活動はおこなっておりません。

財務活動に使用された資金は、5億49百万円(同10億39百万円減)となりました。長期・短期借入金を4億92百万円返済し、配当金57百万円の支払いをおこなっております。

以上の結果、現金及び現金同等物は、9億59百万円(同8億3百万円増)となりました。

#### 3.平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	15,250	470	250
通期	31,300	1,200	650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 46円70銭

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

#### 業績予想

今後(第2四半期以降)の売上高の見通しは、次の諸施策により当初の計画通り推移するものとみております。需要が高まる夏場に向けた新商品として、たんぱく質と鉄分が豊富でヘルシー志向の女性を中心に注目されている羊肉を食べやすく仕上げた「ジンギスカンジャーキー」を発売、売上が好調な「チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈」「茎わかめ」等の更なる拡販推進及び珍味売場以外のカテゴリー拡大と

して「梅スッキリボトル」の拡販や「小物商品」の更なるラインナップ強化を図ってまいります。また、特に「チルドおつまみ」については、新商品開発に注力しアイテム充実を図り順次市場に投入してまいります。更に、若い女性や高齢者といった新たな需要の掘り起こしによる「新しいおつまみ」の創造を目指し、プロジェクトチームを立上げ、開発を進めてまいります。

利益面につきましても、当初の計画通りとみております。引き続き中国リスクを勘案しつつ国内から中国加工へのシフト、及び高付加価値商品の拡販に努め、更なる利益率の改善を図ってまいります。

なお、平成17年5月11日公表の中間及び通期業績予想に変更はございません。

## 〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	1,292,054	830,480	461,574	55.6	1,541,222
2. 受取手形及び売掛金	4,221,324	4,241,422	20,098	0.5	4,340,462
3. たな卸資産	4,008,147	4,507,863	499,715	11.1	4,320,022
4. その他	635,108	288,968	346,140	119.8	628,383
<b>流動資産合計</b>	<b>10,156,636</b>	<b>9,868,734</b>	<b>287,901</b>	<b>2.9</b>	<b>10,830,091</b>
固定資産					
1. 有形固定資産	11,561,452	11,999,398	437,946	3.6	11,640,637
2. 無形固定資産	125,837	124,762	1,075	0.9	132,672
3. 投資その他の資産	1,289,876	1,695,470	405,593	23.9	1,284,812
<b>固定資産合計</b>	<b>12,977,166</b>	<b>13,819,631</b>	<b>842,464</b>	<b>6.1</b>	<b>13,058,121</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,133,802</b>	<b>23,688,366</b>	<b>554,563</b>	<b>2.3</b>	<b>23,888,213</b>
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	2,853,553	2,831,844	21,709	0.8	2,569,328
2. 短期借入金	2,609,000	3,153,709	544,709	17.3	2,978,000
3. 一年以内に返済予定の 長期借入金	336,438	470,948	134,510	28.6	417,708
4. 一年以内に償還 予定の社債	-	100,000	100,000	-	-
5. 未払法人税等	132,515	113,724	18,791	16.5	373,650
6. その他	1,099,828	1,120,214	20,386	1.8	1,465,610
<b>流動負債合計</b>	<b>7,031,335</b>	<b>7,790,440</b>	<b>759,105</b>	<b>9.7</b>	<b>7,804,297</b>
固定負債					
1. 新株予約権付社債	1,211,000	1,480,000	269,000	18.2	1,211,000
2. 長期借入金	1,089,856	1,338,894	249,038	18.6	1,131,723
3. その他	1,308,430	1,340,436	32,005	2.4	1,304,527
<b>固定負債合計</b>	<b>3,609,286</b>	<b>4,159,330</b>	<b>550,043</b>	<b>13.2</b>	<b>3,647,250</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,640,622</b>	<b>11,949,770</b>	<b>1,309,148</b>	<b>11.0</b>	<b>11,451,548</b>
(少数株主持分)					
<b>少数株主持分</b>	<b>160,635</b>	<b>158,474</b>	<b>2,161</b>	<b>1.4</b>	<b>162,007</b>
(資本の部)					
資本金	1,369,625	1,235,125	134,500	10.9	1,369,625
資本剰余金	1,685,435	1,550,923	134,512	8.7	1,685,435
利益剰余金	9,238,096	8,728,151	509,945	5.8	9,175,844
その他有価証券評価差額金	41,429	67,193	25,764	38.3	45,778
自己株式	2,042	1,272	769	60.5	2,026
<b>資本合計</b>	<b>12,332,544</b>	<b>11,580,121</b>	<b>752,423</b>	<b>6.5</b>	<b>12,274,657</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>23,133,802</b>	<b>23,688,366</b>	<b>554,563</b>	<b>2.3</b>	<b>23,888,213</b>

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	7,557,867	7,659,759	101,892	1.3	30,805,230
売上原価	5,131,955	5,233,022	101,067	1.9	20,673,649
<b>売上総利益</b>	<b>2,425,911</b>	<b>2,426,736</b>	<b>824</b>	<b>0.0</b>	<b>10,131,580</b>
販売費及び一般管理費	2,125,636	2,162,815	37,178	1.7	9,069,130
<b>営業利益</b>	<b>300,275</b>	<b>263,921</b>	<b>36,353</b>	<b>13.8</b>	<b>1,062,450</b>
営業外収益					
1. 受取賃料	11,983	14,112	2,128	15.1	49,793
2. その他	20,588	11,678	8,910	76.3	56,687
営業外収益合計	32,572	25,790	6,782	26.3	106,480
営業外費用					
1. 支払利息	11,722	14,582	2,860	19.6	55,117
2. その他	8,705	7,109	1,595	22.4	28,931
営業外費用合計	20,427	21,692	1,264	5.8	84,048
<b>経常利益</b>	<b>312,420</b>	<b>268,018</b>	<b>44,401</b>	<b>16.6</b>	<b>1,084,881</b>
特別利益					
1. 地域雇用奨励金	-	-	-	-	5,000
2. 受取役員保険金	-	-	-	-	558,992
特別利益合計	-	-	-	-	563,992
特別損失					
1. 固定資産売却損	-	-	-	-	110,892
2. 固定資産除却損	360	-	360	-	1,651
3. 保険解約損	-	-	-	-	12,515
4. 社葬費用	-	-	-	-	21,904
5. 役員退職慰労引当金繰入額	-	-	-	-	84,051
6. たな卸資産整理損	-	-	-	-	160,416
7. 関係会社整理損失引当金繰入額	-	-	-	-	50,000
8. 関係会社整理損	1,226	-	1,226	-	-
特別損失合計	1,586	-	1,586	-	441,431
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	<b>310,833</b>	<b>268,018</b>	<b>42,814</b>	<b>16.0</b>	<b>1,207,442</b>
調整後法人税等	132,532	113,724	18,808		533,938
少数株主利益又は少数株主損失( )	454	476	931		4,010
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>178,755</b>	<b>153,817</b>	<b>24,937</b>	<b>16.2</b>	<b>669,494</b>

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,685,435	1,550,923	1,550,923
資本剰余金増加高	-	-	134,512
1. 社債の転換による新株の発行	-	-	134,500
2. 自己株式処分差益	-	-	12
資本剰余金減少高	-	-	-
資本剰余金四半期末(期末)残高	1,685,435	1,550,923	1,685,435
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	9,175,844	8,649,846	8,649,846
利益剰余金増加高	178,755	153,817	669,494
四半期(当期)純利益	178,755	153,817	669,494
利益剰余金減少高	116,503	75,512	143,496
1. 配 当 金	69,595	67,812	135,796
2. 取締役賞与	8,225	7,700	7,700
3. 連結子会社除外に伴う減少額	38,682	-	-
利益剰余金四半期末(期末)残高	9,238,096	8,728,151	9,175,844

#### 4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	310,833	268,018	1,207,442
2. 減価償却費	148,459	159,421	673,592
3. 関係会社整理損失引当金の減少額	50,000	-	-
4. 受取利息及び受取配当金	5,645	4,361	7,343
5. 支払利息	11,722	14,582	55,117
6. 売上債権の減少額	98,474	233,849	141,095
7. たな卸資産の減少額	176,128	528,215	721,295
8. 仕入債務の増減額	376,263	124,825	284,558
9. 未払消費税等の増減額	13,105	4,027	26,977
10. 役員賞与の支払額	8,225	7,700	7,700
11. その他	256,221	287,554	396,568
小 計	814,894	1,033,325	2,075,397
12. 利息及び配当金の受取額	5,665	4,385	7,349
13. 利息の支払額	8,289	9,634	53,928
14. 役員保険の受取額	-	-	903,192
15. 社葬費用の支払額	-	-	21,904
16. 法人税等の支払額	371,414	101,695	317,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	440,855	926,381	2,592,713
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期性預金の預入れによる支出	-	-	1
2. 定期性預金の払出しによる収入	115,325	15,000	-
3. 新規連結子会社の取得による収入	447	-	-
4. 有形固定資産の取得による支出	76,180	18,646	413,226
5. 有形固定資産の売却による収入	19,219	-	31,110
6. 投資有価証券の取得による支出	7,818	7,910	28,204
7. 投資有価証券の売却による収入	-	-	19
8. 役員保険の解約による収入	-	-	61,924
9. その他	140	1	15,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,853	11,558	363,576
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の減少額	369,000	1,413,000	1,347,000
2. 長期借入金の減少額	123,137	120,137	380,548
3. 社債の償還による支出	-	-	100,000
4. 自己株式の売却による収入	-	-	125
5. 自己株式の取得による支出	15	106	973
6. 親会社による配当金の支払額	56,138	54,038	135,749
7. 少数株主への配当金の支払額	917	1,692	1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	549,208	1,588,974	1,965,838
・ 現金及び現金同等物の増減額	57,500	674,151	263,298
・ 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	76,342	-	-
・ 現金及び現金同等物期首残高	1,092,893	829,594	829,594
・ 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	959,050	155,443	1,092,893

## 5. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

（法人税等の計上基準）

法定実効税率を基礎として実際の税負担額を試算のうえ、調整後法人税として計上しております。

## 6. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第1四半期における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

## 7. 販売の状況

販売実績

（単位：千円、端数切捨て）

区 分	当四半期累計 (平成18年3月期第1四半期)		前年同四半期累計 (平成17年3月期第1四半期)		前連結会計年度 (平成17年3月期)
	金 額	前年同 四半期比	金 額	前年同 四半期比	金 額
水産加工製品	4,501,010	2.5	4,614,596	12.5	18,189,577
畜肉加工製品	1,097,975	3.0	1,065,953	6.2	4,542,472
酪農加工製品	673,027	2.8	654,713	1.1	2,634,483
農産加工製品	718,289	5.7	761,409	0.7	2,897,136
惣菜製品 他	567,564	0.8	563,084	6.9	2,541,559
合 計	7,557,867	1.3	7,659,759	8.5	30,805,230

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 8. その他

該当事項はありません。